

**令和7(2025)年度
全国学力・学習状況調査
結果分析**



下野市教育研究所

令和7年 1 1 月

令和 7 (2025) 年度「全国学力・学習状況調査」結果分析

令和 7 年 1 1 月

下野市教育委員会

調査について

1 調査の概要（「全国学力・学習状況調査」実施要項より一部抜粋）

（1）調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（2）調査実施日

令和 7 (2025) 年 4 月 17 日（木）

（3）調査対象

①小学校調査：小・義務教育学校第 6 学年

②中学校調査：中学校第 3 学年、義務教育学校第 9 学年

（4）調査事項及び手法

①教科に関する調査

・小学校調査：国語、算数、理科

・中学校調査：国語、数学、理科

※中学校調査の理科は、ICT 端末を用いたオンライン方式で実施

②児童生徒質問調査

・内 容：学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等

・方 法：ICT 端末を用いたオンライン方式

・質問数：（小学校）80 項目＋教科に関する項目 6 問

（中学校）72 項目＋教科に関する項目 4 問

③学校質問調査

・内容：指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等

・方法：ICT 端末を用いたオンライン方式

・質問数：（小学校）91 項目

（中学校）91 項目

（5）その他

本調査の結果は、学力の特定の一部であること、学校における活動の一側面であることに留意し、児童生徒の全般的な学習状況への指導・改善等につなげるよう留意する。

2 本市の参加状況 ※参加人数は最も多かった教科のもの

調査対象内訳	参加校数	参加人数
小・義務教育学校第 6 学年	9 校	477 人
中学校第 3 学年・義務教育学校第 9 学年	4 校	476 人

本市の結果について

※小学校には義務教育学校前期過程、中学校には義務教育学校後期課程を含みます

1 概要

- ◎ 大きく上回っている(5ポイント以上)、○ 上回っている(1ポイント以上5ポイント未満)
 — 同じ(±1ポイント未満)
 ▽ 下回っている(1ポイント以上5ポイント未満)、▼ 大きく下回っている(5ポイント以上)

【教科に関する調査の結果】※下野市と県、全国の平均正答率の比較

小学校第6学年			中学校第3学年		
教科	県との比較	全国との比較	教科	県との比較	全国との比較
国語	◎	◎	国語	○	○
算数	◎	◎	数学	○	○
理科	◎	◎	理科	※	※

※中学校理科については、各学校で出題された問題が異なるCBT調査のため、県・全国との比較なし

2 結果の推移（全国平均正答率との比較）

- ◎ 大きく上回っている(5ポイント以上)、○上回っている(1ポイント以上5ポイント未満)
 — 同じ(±1ポイント未満)
 ▽ 下回っている(1ポイント以上5ポイント未満)、▼ 大きく下回っている(5ポイント以上)

【直近10年間の結果】

学年	教 科	H28	H29	H30	H31	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
小学校 第6学年	国語A	◎	○	○	○	一 斉 実 施 な し	○	○	○	○	◎
	国語B	○	○	○			○	○	○	◎	
	算数A	◎	○	○	○		○	○	○	○	◎
	算数B	○	○	○			○	○	○	◎	
	理 科			○				○			◎
中学校 第3学年	国語A	○	—	○	○		○	○	○	○	○
	国語B	◎	○	○			○	○	○	○	
	数学A	○	○	—	○		○	○	○	○	○
	数学B	○	○	○			○	○	○	○	
	理 科			○				◎			※
	英 語				○				○		

※平成31年度よりA問題とB問題の区分なし

※令和7年度中学校理科については、各学校で出題された問題が異なるIRTスコアによる結果表示のため、県・全国との比較なし

各教科の結果について



1 国語

(1) 小学校第6学年

- ◎ 大きく上回っている（5ポイント以上）
- 上回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
- － 同程度（±1ポイント未満）
- ▽ 下回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
- ▼ 大きく下回っている（5ポイント以上）

① 教科の正答率

	全 体
県との比較	◎
全国との比較	◎

② 学習指導要領の内容別正答率

	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		
	言葉の特徴や 使い方に関する事項	情報の扱い方 に関する事項	我が国の 言語文化に 関する事項	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと
県との比較	◎	○	◎	○	◎	◎
全国との比較	◎	○	◎	○	◎	◎

③ 観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	◎	◎
全国との比較	◎	◎

④ 問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	◎	◎	◎
全国との比較	○	◎	◎

⑤ 考察

- ・教科全体、各種別ともに、平均正答率が県及び全国を上回る結果となった。
- ・「書くこと」の領域における自分の考えが伝わる文章にするための工夫を見る大問では、4年生、5年生時に引き続き、高い正答率となった。単元の学習の中で目的を明確にした言語活動が設定されていることで、自分の考えを分かりやすく伝えるために必要な表現力を身に付けてきたと考えられる。更に、他教科や特別活動等と結び付けた言語活動を継続的に実践することで、学校生活全体を通して表現力を高めることが期待できる。
- ・「読むこと」の領域では、資料を読んで大まかな内容を捉えたり、構成を捉えて要旨を把握したりしているかを見る大問において、県及び全国の前年度を大きく上回った。今後は、捉えた内容を基に話し合ったり、読み返したりする活動を取り入れることで、自分の読みが妥当であるか振り返りながら、主体的に読み深めようとする態度の育成を図りたい。

(2) 中学校第3学年

- ◎ 大きく上回っている（5ポイント以上）
- 上回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
- 同程度（±1ポイント未満）
- ▽ 下回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
- ▼ 大きく下回っている（5ポイント以上）

① 教科の正答率

	全 体
県との比較	○
全国との比較	○

② 学習指導要領の内容別正答率

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		
	言葉の特徴や使い方に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
県との比較	—	○	○	○
全国との比較	○	○	○	○

③ 観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	—	○
全国との比較	○	○

④ 問題形式別正答率

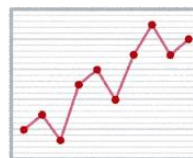
	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	○	○
全国との比較	○	○	○

⑤ 考察

- ・教科全体、各種別ともに、平均正答率が県及び全国と同程度か上回る結果となった。
- ・「書くこと」の領域では、推敲を重ねたらしから表現や文章の構成の工夫を考える大問において、県及び全国の平均正答率を上回った問題が多く見られた。一方で、文中の平仮名を漢字に修正する問題では、県及び全国の平均正答率を上回ったものの、正答率は4割程度に留まった。新出漢字の学習では、その漢字の持つ意味や、教材文で扱っていない読み方にも目を向けさせ、文脈に即して適切な漢字を選択できるよう、継続的な指導が求められる。
- ・「読むこと」の領域では、文学的な文章を扱った大問中、根拠を挙げて話の展開の効果を説明する問題において正答率が2割程度と低い結果になった。無解答率も2割を越え、話の筋を理解しながら展開の効果まで捉えることが難しかったと考えられる。授業改善の視点として、作品の特徴的な構成や展開に着目して文章を読むことが求められる。一例として、その後の展開を予測しながら読み、展開の効果について考える学習活動が考えられる。

2 算数・数学

(1) 小学校第6学年



- ◎ 大きく上回っている（5ポイント以上）
- 上回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
- － 同程度（±1ポイント未満）
- ▽ 下回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
- ▼ 大きく下回っている（5ポイント以上）

① 教科の正答率

	全 体
県との比較	◎
全国との比較	◎

② 学習指導要領の内容別正答率

	数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
県との比較	◎	○	◎	◎	◎
全国との比較	◎	○	◎	○	◎

③ 観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	◎	◎
全国との比較	◎	○

④ 問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	◎	◎
全国との比較	○	◎	◎

⑤ 考察

- ・教科全体及び各種別すべての正答率において、県及び全国の平均正答率を上回る結果となった。
- ・数直線上に示された数を分数で答える問題や、平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図できるかどうかをみる問題では、県・全国の平均正答率を大きく上回った。数を単位分数の幾つ分として捉えたり、図形の性質を基に作図をしたりする知識・技能が身に付いていると考えられる。
- ・一方で、台形を選ぶ問題では、県・全国の平均正答率を下回った。誤答の傾向をみると、図形の向きを変えても図形の性質は変わらないことを理解していなかったり、直角のある四角形を台形と捉えることができなかったりしていることが考えられる。指導においては、図形を分ける活動において、図形の性質を根拠として挙げながら説明するなどの数学的活動が重要である。

(2) 中学校第3学年

- ◎ 大きく上回っている（5ポイント以上）
 ○ 上回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
 — 同程度（±1ポイント未満）
 ▽ 下回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
 ▼ 大きく下回っている（5ポイント以上）

① 教科の正答率

	全 体
県との比較	○
全国との比較	○

② 学習指導要領の内容別正答率

	数と式	図形	関数	データの活用
県との比較	○	○	○	○
全国との比較	○	—	○	○

③ 観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	○	○
全国との比較	○	○

④ 問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	○	○	○
全国との比較	○	○	○

⑤ 考察

- ・教科全体及び各種別のすべての正答率において、県及び全国の平均正答率と同程度または上回る結果となった。
- ・比例の関係を用いて電車の走行距離から運賃を予測する方法を説明する記述式の問題では、県平均正答率を5ポイント以上上回った。関数の表やグラフ、式などを利用することで、分かっていない値を求める方法を考え、表現することができた。日頃の学習の中で数学的な表現（言葉や数、式、図、表、グラフなど）を用いて説明する数学的活動を行っている成果であると考えられる。
- ・数量を文字を用いた式で表したり、外角の大きさを求めたりする基礎的な知識・技能の問題で、全国平均正答率を下回った。公式や言葉の暗記に留まらず、その意味を深く理解し、知識を他の知識と関連付けながら身に付けられるようにすることが大切である。更に、知識・技能を用いて日常生活や社会の事象を解決する活動を行うことで、実感を伴う理解につなげることが期待できる。

理科

(1) 小学校第6学年



- ◎ 大きく上回っている（5ポイント以上）
- 上回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
- － 同程度（±1ポイント未満）
- ▽ 下回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
- ▼ 大きく下回っている（5ポイント以上）

① 教科の正答率

	全 体
県との比較	◎
全国との比較	◎

② 学習指導要領の内容別正答率

	「エネルギー」を 柱とする領域	「粒子」を柱と する領域	「生命」を柱とす る領域	「地球」を柱とす る領域
県との比較	◎	◎	◎	◎
全国との比較	◎	◎	◎	◎

③ 観点別正答率

	知識・技能	思考・判断・表現
県との比較	◎	◎
全国との比較	◎	◎

④ 問題形式別正答率

	選択式	短答式	記述式
県との比較	◎	◎	◎
全国との比較	◎	◎	◎

⑤ 考察

- ・教科全体、各種別全ての正答率において、県及び全国の平均正答率を大きく上回る結果となった。
- ・「エネルギー」領域の電流の大きさに関する問題では、乾電池のつなぎ方について、直列つなぎ、並列つなぎの特徴を理解することができており、正答率が全国平均と比べて特に高い傾向が見られた。
- ・「エネルギー」領域の金属の性質に関する問題では、アルミニウム、鉄、銅が電気を通すか、磁石に引き付けられるかなど、それぞれの性質を問う設問に課題が見られた。授業では、自然の事物や現象と既習の知識を関係付けたり、知識同士を関連付けたりしながら理解を深め、金属の性質に関する知識を身に付けさせる指導が重要である。

(2) 中学校第3学年

①～④ 令和7年度中学校理科については、各学校で出題された問題が異なるIRTスコアによる結果表示のため、県・全国との比較なし

⑤ 考察

- ・ 共通問題においては、県及び全国の平均正答率と同程度の結果となった。
- ・ 「エネルギー」領域の電流とその利用に関する問題では、回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する設問に課題が見られた。抵抗の値が小さい方が発生する熱量が大きいという知識は身に付いているが、約4割の生徒が回路全体の抵抗が大きいのは抵抗を並列につないでいる装置であると誤って捉えており、合成抵抗の理解が十分でないと考えられる。回路の構成と抵抗の関係を正しく理解した上で、電流・電圧・抵抗・熱量の関係を総合的に考察する力を育成する指導が重要である。
- ・ 「粒子」領域の身の回りの物質に関する問題では、水道水や精製水について探究したことを振り返る学習場面が扱われた。その中で、発表に対する他者の考えを参考に、自身の振り返りを記述する力に課題が見られた。今後は、探究の成果を共有する場面において、学んだ内容を整理し、次の課題や新たな疑問へとつなげて表現する力の育成を図りたい。

学習状況調査（児童・生徒質問調査）の結果について

1 生活習慣に関連する項目

朝食、就寝時刻、起床時刻に関する項目では、肯定的回答の割合が全国を上回る結果となった。昨年度までも同様の結果を示していることから、本市の児童生徒は全体的に基本的な生活習慣が定着していると言える。一方で、肯定的回答の割合は昨年度より減少している。

今後も規則正しい生活習慣の大切さを児童生徒に指導するとともに、家庭への啓発を引き続き行い、好ましい生活習慣を継続させていくことが求められる。

質問 番号	質 問 事 項	小学校 (%)		中学校 (%)	
		市	全国	市	全国
(1)	朝食を毎日食べていますか	94.9	93.7	93.8	91.2
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	86.0	81.9	82.2	81.0
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	94.2	91.0	95.7	92.6
(71)	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか	82.8	80.0		

※数値は肯定的回答の合計

2 自己有用感、人との関わりに関連する項目

全国と比較し、同程度または上回る結果となった。中学校調査では、昨年度と比較して、全ての項目において肯定的回答の割合が上昇した。また、小・中学校共に(6)(9)(11)(15)の項目において、肯定的回答の割合が特に高かった。

児童生徒の自己有用感は年々高まる傾向にある。一因として、日頃の先生方の関わり方や声掛け等により、他者を思いやる気持ちが高まっていることが挙げられる。

今後も、児童生徒に寄り添いながら一人一人のよさを認め伸ばしていく指導を継続していきけるようお願いしたい。

質問 番号	質 問 事 項	小学校 (%)		中学校 (%)	
		市	全国	市	全国
(5)	自分には、よいところがあると思いますか	89.1	86.9	88.2	86.2
(6)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	96.1	92.2	95.3	92.2
(7)	将来の夢や目標を持っていますか	86.0	83.1	71.7	67.5
(8)	人が困っているときは、進んで助けていますか	94.9	93.7	94.0	90.9
(9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.4	97.2	97.8	95.9
(10)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	67.8	70.6	79.7	73.2
(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.2	96.4	98.3	96.6
(12)	学校に行くのは楽しいと思いますか	90.7	86.5	91.0	86.1
(13)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	78.9	78.1	84.3	79.2

(14)	友達関係に満足していますか	90.1	91.7	93.2	91.4
(15)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか ※「よくある」「ときどきある」の合計	95.1	93.0	94.2	91.6

※数値は肯定的回答の合計

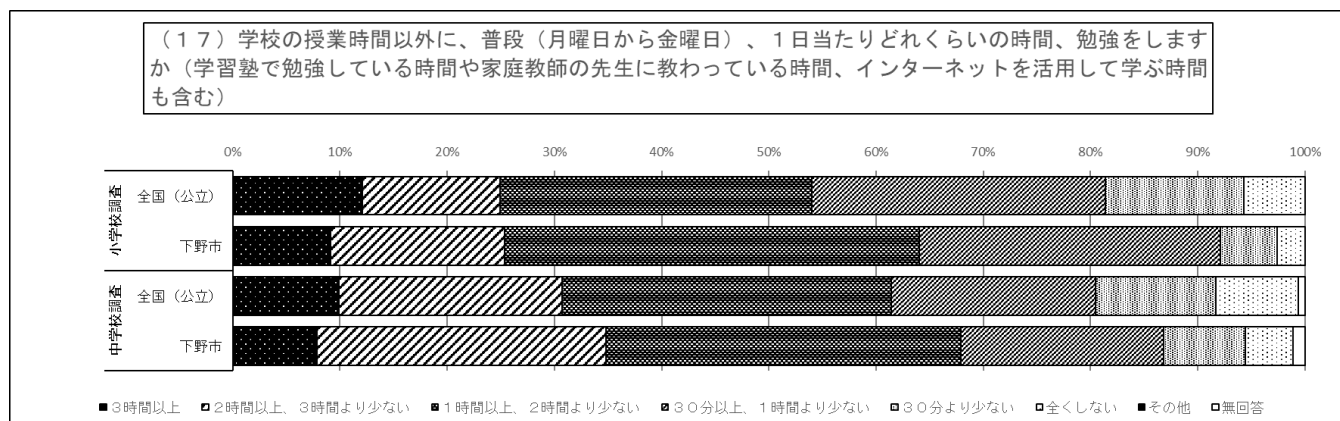
3 学習習慣、家庭・地域に関連する項目

全国と比較し、学校の授業時間以外に勉強をする習慣が身に付いている児童生徒や休日に2時間以上勉強をする児童生徒の割合が高い結果となった。一方で、中学校調査では、「自分で学び方を考え工夫すること」について、肯定的回答の割合は全国を下回る結果となった。児童生徒が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、児童生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう工夫することが求められる。

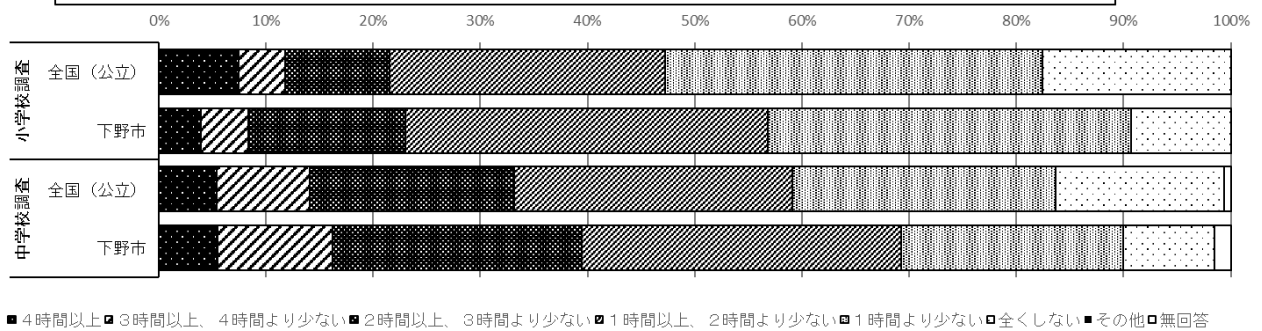
また、「新聞を読む」と回答した児童生徒の割合は、全国を上回っている。中学校調査では、「読書は好きですか」という質問に対し、肯定的回答の割合が全国を下回り、「学校の授業時間以外に読書を全くしない」という回答の割合が全国を上回る結果となった。「新聞の日」や読書週間等の活動を有効に活用し、児童生徒が新聞活用や読書のよさを感じられるような機会をつくるなどの取組を継続していく必要がある。

質問 番号	質 問 事 項	小学校 (%)		中学校 (%)	
		市	全国	市	全国
(16)	分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	83.8	81.7	76.6	77.5
(23)	新聞を読んでいますか	16.4	11.5	13.1	7.8
	※上段：月に1～3回程度と回答した割合 下段：週に1～3回程度と回答した割合	8.5	7.0	4.1	4.1
(24)	読書は好きですか	71.2	69.7	59.6	61.6
(25)	これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありましたか	81.3	80.6	76.9	75.7
(26)	地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか（習い事は除く）	38.1	39.4	31.6	29.5
(27)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	87.1	81.3	79.4	75.3

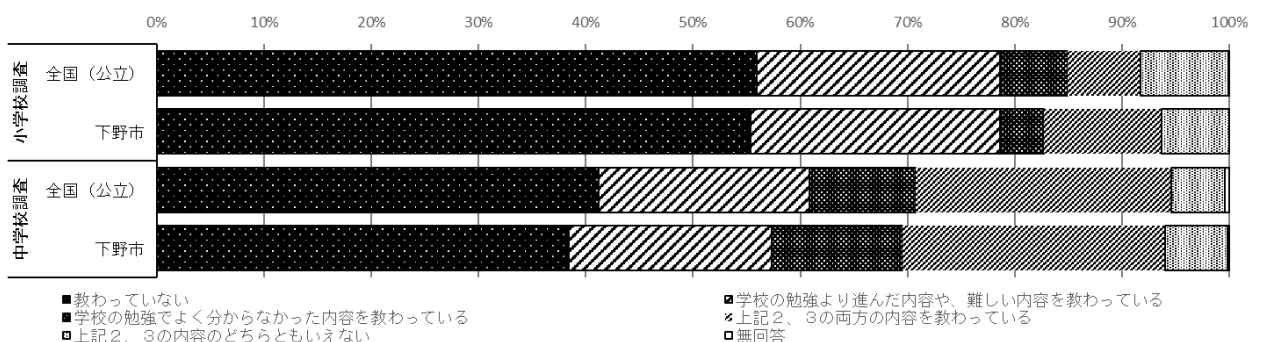
※数値は肯定的回答の合計



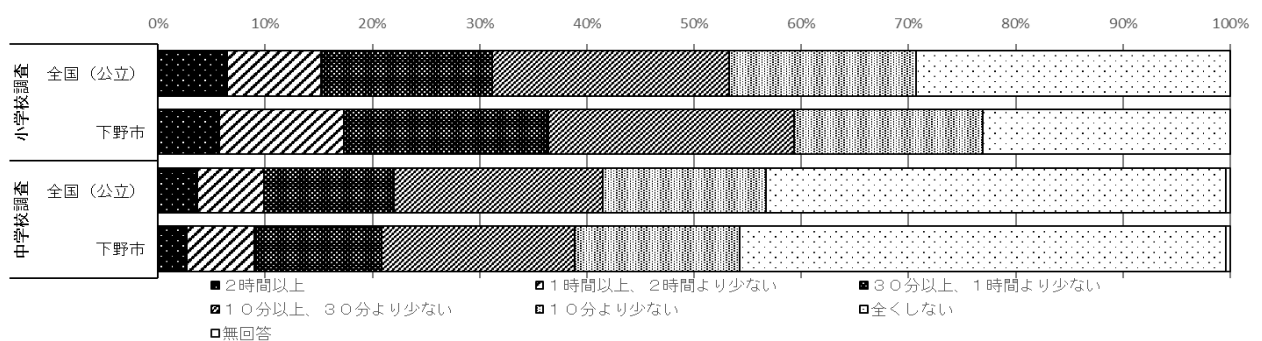
(19) 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



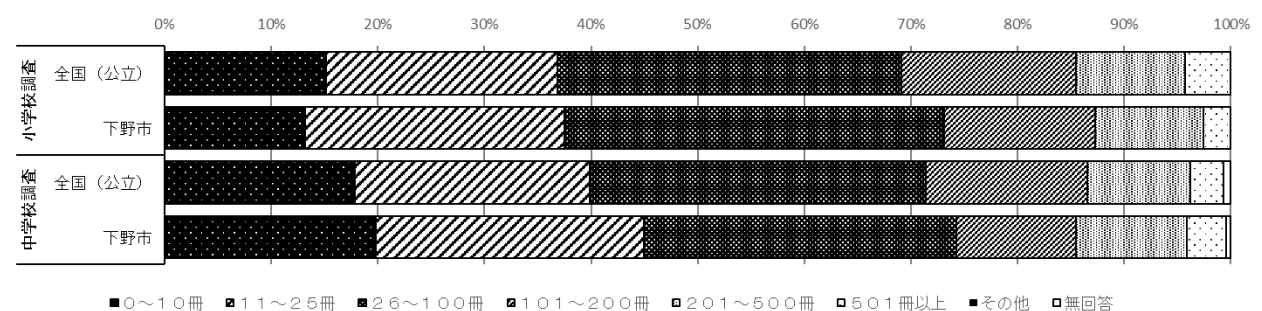
(20) 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（オンライン授業の場合も含む）



(21) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



(22) あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）



4 ICT 機器の活用に関連する項目

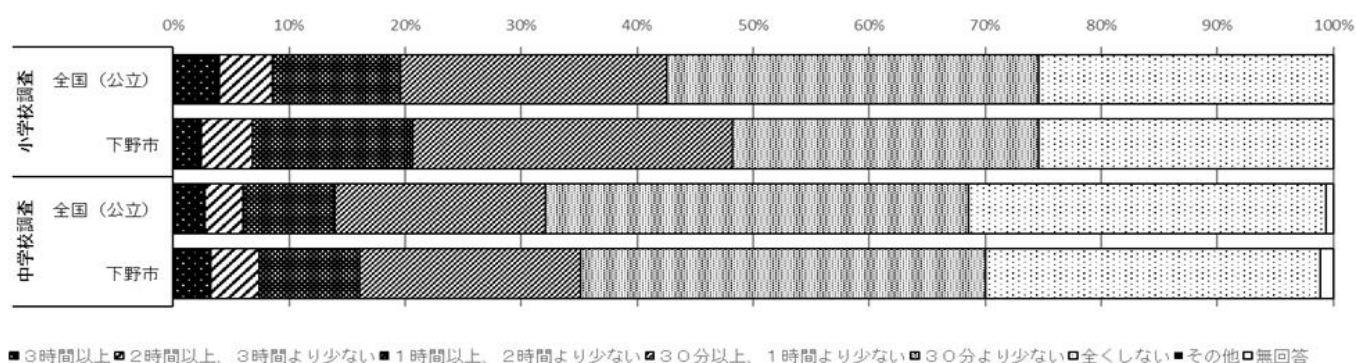
全国と比較し、肯定的回答の割合が高い結果となった。ICT 機器の活用に関する項目では、情報収集やプレゼンテーションの作成を行うことについて、その傾向が顕著であった。また、ICT 機器の活用に関心を感じている児童も多い。情報活用能力の育成に向けて、情報モラルや情報セキュリティ、プログラミング的思考などの教育を教育課程に位置付けたり、小中一貫教育との関連を図りながら、タイピング等の取組を継続したりすることが考えられる。

授業中の ICT 機器の活用については、昨年度と比較すると「ほぼ毎日」と回答した割合は、小学校では約 15%、中学校では約 20%高くなっている。校内研修等において、ICT 機器の活用法について共有を図るとともに、各教科等における ICT 機器の効果的な活用法について、引き続き研究を進めていただきたい。

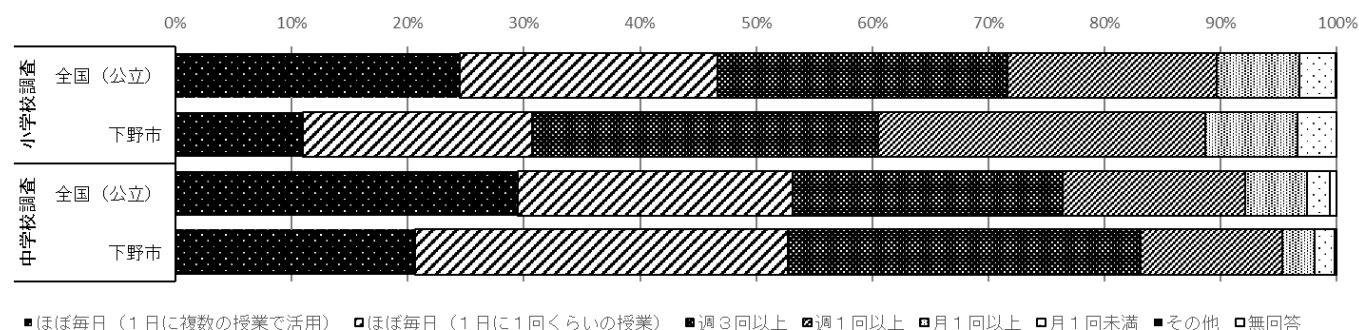
質問 番号	質 問 事 項	小学校 (%)		中学校 (%)	
		市	全国	市	全国
(29-1)	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができますか	86.0	81.8	78.8	83.6
(29-2)	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができますか	92.3	89.8	93.3	91.5
(29-3)	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか	72.6	69.3	68.9	63.3
(29-4)	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか	86.4	76.7	85.0	76.6
(30-1)	ICT 機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	86.2	81.3		
(30-2)	ICT 機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	91.7	89.2		
(30-3)	ICT 機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる	91.1	85.5		
(30-4)	画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	89.7	88.1		
(30-5)	ICT 機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	81.6	77.6		
(30-6)	ICT 機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	82.3	84.6		
(30-7)	ICT 機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる	89.7	87.5		

※数値は肯定的回答の合計

(18) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



小（28）5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか 中（28）1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



5 教科に関連する項目

今回調査の対象となったのは、調査で扱った国語、算数・数学、理科の3教科である。いずれの教科・項目においても、ほぼ肯定的回答の割合が全国と同程度か上回る結果となった。授業や学校生活において、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組むことについて、肯定的回答の割合が高い傾向が見られた。

算数・数学や理科の学習について、小学校調査では「将来社会に出たときに役に立つ」と考えている児童の割合が高いが、中学校調査では、「将来社会に出たときに役に立つ」「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できている」と考えている生徒の割合が小学校より下がる傾向が見られた。日常生活との関連を意識した課題を設定したり、学習内容を今後の生活にどのように活用していきたいかを考えさせたりする場を設けるなど、児童生徒が学ぶことの必然性を実感できるような工夫が求められる。

質問番号		質 問 事 項 ※（ ）は中学校	小学校 （%）		中学校 （%）	
小	中		市	全国	市	全国
(31)	(31)	5(2)年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	67.4	68.6	68.3	63.0
(32)	(32)	5(2)年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	83.5	80.3	82.2	77.7

(33)	(33)	5(2)年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	82.1	77.8	81.4	70.6
(34)	(34)	5(2)年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	87.9	83.4	86.9	79.3
(35)	(35)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	88.2	84.9	88.8	84.7
(36)	(36)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	82.2	79.4	76.7	73.4
(37)	(37)	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか	85.0	82.5	79.0	74.8
(38)	(38)	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくださっていると思いますか	87.2	87.4	88.0	83.8
(39)	(39)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	94.3	91.9	93.8	91.9
(40)	(40)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	86.4	82.3	91.9	79.5
(41)	(41)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	89.1	83.3	90.8	84.3
(42)	(42)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	85.8	80.8	83.7	77.3
(43)	(43)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	93.1	88.0	96.4	91.5
(44)	(44)	国語の勉強は得意ですか	60.7	61.4	58.0	51.4
(45)	(45)	国語の勉強は好きですか	61.0	58.3	57.4	57.9
(46)	(46)	国語の授業の内容はよく分かりますか	88.0	82.8	79.9	77.0
(47)	(47)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	92.7	90.4	91.7	88.3
(48)	(48)	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	82.5	78.2	76.0	72.9
(49)	(49)	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれますか	77.5	75.5	73.4	70.2
(50)		国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていますか	84.4	81.8		
(51)		国語の授業で、目的に応じて説明的な文章を読み、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けていますか	83.4	79.1		
	(50)	国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか			80.1	74.0
	(51)	国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか			78.8	73.6

(52)	(52)	算数・数学の勉強は得意ですか	60.9	60.3	47.8	46.0
(53)	(53)	算数・数学の勉強は好きですか	61.2	57.9	57.2	53.8
(54)	(54)	算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	82.4	78.3	71.9	70.3
(55)	(55)	算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	95.2	91.6	76.0	75.2
(56)	(56)	算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか	85.8	83.3	59.3	57.9
(57)	(57)	算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	87.0	82.3	81.1	76.2
(58)	(58)	算数・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	77.0	65.5	73.3	58.6
(59)		小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしていますか	85.1	80.6		
	(59)	文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができますか			72.0	67.1
(60)	(60)	理科の勉強は得意ですか	79.7	78.4	57.3	50.7
(61)	(61)	理科の勉強は好きですか	81.9	80.1	70.1	63.8
(62)	(62)	理科の授業の内容はよく分かりますか	89.1	88.9	70.1	71.4
(63)	(63)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	80.1	79.9	65.9	63.4
(64)	(64)	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	29.8	30.0	22.3	21.7
(65)	(65)	理科の授業で学習したこと（知識）を普段の生活の中で活用できていますか	68.8	63.2	53.3	54.7
	(66)	理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか			49.1	50.7
(66)	(67)	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか	73.2	68.9	57.3	56.2
(67)	(68)	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	93.7	92.4	94.6	85.8
(68)		理科の授業では、問題に対して答えがどのようなになるのか、自分で予想（仮説）を考えていますか	89.6	85.7		
(69)		理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	93.3	88.4		
	(69)	理科の授業では、自分の予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てていますか			82.7	70.2
(70)		理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	82.8	76.0		
	(70)	理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っていますか			76.7	68.4

※数値は肯定的回答の合計